



センリョウ

ひらつか

●発行 平塚市 ●編集 企画部広報広聴課
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
電話 23-1111・35-1111 FAX 23-9467
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/
●発行部数 103,000部 (毎月1日・15日発行)



「初心」。わたしは、母からもらったこの言葉を自分の柔道、そして人生の支えにしています。オリンピックでは金メダルを獲得でき、大変いい形で20世紀をしめくることができましたが、これからが勝負だと思っています。今年も変わることなく、この「初心」を大切に頑張っていきます。21世紀を担う今の子どもたちにも、最初に抱いた素直な気持ちを忘れないで、夢を追いかけてほしいですね。
シドニーオリンピック柔道男子100kg以下級 金メダリスト
東海大学体育学部武道学科4年 井上 康生

新たな世紀、新たな平塚へ。



新年によせて
平塚市長
吉野 稔威雄

明けましておめでとう
うございます。皆様方には希望あふれる新春をお迎えのことと存じます。今年には特に一年の始まりに加えて、二十一世紀の幕開けも重なり、記念すべき歴史的瞬間を迎えることが出来たことを、皆さんとともに喜びたいと思います。
私はいま記念すべき節目の年の年頭にあたり、その職責の重大さを痛感いたしております。激しく変貌して止まない現代社会において、市民が安心して暮らすことの出来る、住みやすいまちづくりにまい進したいと思っております。
四月には特例市としてスタートするほか、介護保険制度が二年目に入り、より円滑なサービス提供への努力が求められます。また、新平塚市総合計画の第二次実施計画が始まり、湘南ベルマーレに対する広域的支援や、二〇

誇りと愛着の持てるまちをめざして

〇二年に開催されるサッカーのワールドカップ公認キャンプ地誘致に向けた活動も本格化します。情報化時代への対応も欠かすわけにはいきません。
何よりも、この新しい世紀を担う子どもたちの育成のため、学校と地域をつなぐ地域教育力ネットワークを充実させていきたいと思っております。
また、歴史的な所や旧跡などの表示を充実させて、平塚の歴史に対する関心を高めていただき、市民が誇りと愛着の持てるまちを実現したいと考えております。
郷土の歴史を見つめ直し、伝統と文化を再発見することが未来へと進む手がかりをもち、手がかかりをもち、信じてくれると信じているからです。
この一年が新たな世紀の幕開けにふさわしくすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新春座談会

平塚の

21世紀を語ろう



新年明けましておめでとうございます。今年のお正月は、毎年繰り返される一年の始まりというだけではなく、二十一世紀という、新しい世紀の幕開けでもあります。そこで、「平塚の二十一世紀を語ろう」と題して、話し合っていたいただきました。



▲座談会会場の美術館応接室で。左から司会、小幡さん、吉野市長、大竹さん、火坂さん

司会 皆様、新年明けましておめでとうございます。本日は平塚にゆかりの三人のゲストをお招きして、吉野稜威雄市長を囲み、存分に話し合っていました。たいと思えます。それではまず大竹さんから。

大竹 私は昭和二十六年暮れに、縁あって横浜町の木谷先生ご夫妻のもとに入門できたのですが、それから十一年間、平塚にお世話になりました。あのころは人々が真剣に汗水を流して生活していたと思います。そういう時代に生活できて、大変恵まれていたと思うと同時に、木谷先生ご夫妻がとてすばらしい方々で、各界のいろんな方が訪ねて来られた。私もまた各界のさまざまな皆様にお目にかかることができた。仲間にもすごく恵まれた。私の後に優秀な子がどんどん出てきて、私がいつも兄貴分でしたというところが、私自身にとつては幸せなことですね。火坂 私は新潟出身ですが、子どものころは雪が大変多くて、冬はかまくらを掘ったり雪合戦をしたり、ずっと雪の遊びです。冬に雪がないおだやかな土地で暮らすというのは、最初は不思議な感じがしましたね。私の女

房は平塚のせんべい屋さんの娘で、結婚して平塚がいいのではということ、こちらに来たのです。やはり東京にも近くて、非常に住みやすいですね。市長 平塚はいい所でしょう。なんていったって気候が温暖です。それから仕事の場の東京とか横浜も近い。伊豆半島や箱根などの温泉場も近くにたくさんある。あらゆるものを受け入れ、享受できるすばらしい所だと思いますよ。しかも、湘南ですから。

小幡 私もおてんばだったので、畑とか木がすくなくたくさんある土屋で育ったものだから、学校からの帰り道に、本当はいけないのに、なっている柿をもいで食べたりの実とかを取ったりとか。あとは本当にもう生傷が絶えないくらい、いつも山野を駆け回っていましたね。司会 小幡さんは、去年はシドニーオリンピックで補欠に選ばれ、その後シカゴマラソンに出場されるなど国際舞台で活躍されましたね。小幡 ええ、日本にいて日本のことを知っているつもりでも、意外と分かっていないと思えます。海外に出てみると、日本の

いい所も分れば悪い所も分るし、また海外のいい所と悪い所も分かったりという感じですね。大竹 平塚は本当にいい所だと思いますよ。私も北から南へほとんど行かせてもらってますけどね、一番刺激のある東京に近い。それから東京だけに染まっただけで、いい湘南の雰囲気を持っていない。こんないい条件の所はそうあるわけじゃない。逆に恵まれ過ぎていて、もうこれでもいいやという面もなくはないですよ。



大竹英雄さん

市長 ドキッとするとね(笑)。確かにそういうところはあります。ハングリー精神がちょっと欠けているところがね……。司会 いろんな所に行ってもう一つ大事なことは、人との出会いだろーと思えます。小幡さんは土沢中学時代から走るのが得意だったそうですが、陸上部がなくてバレーボール部に所属しておられたとか。小幡 そうですね、中学ではバレーボールをやっていた、高校ではバレーボール部に入ると宣言していたのですが、周りのすすめとかもありまして、陸上を始めたんです。そこで石井隆士先生に出会い、どんどのめり込んでいってしまっ、結局今に至ります。営団地下鉄の長沼祥吾監督は大学の先輩にあたるのですが、あまりいい成績が

出せずくすぶっていた時にもよく声をかけてくださる先輩でした。監督というよりも先輩という感じが強く、逆に私として何でも言いやすい。うまく監督と掛け合いをしながら練習ができて、練習が全然苦痛ではありませんでした。大竹 小幡さんのお話を伺っていて、私たちの集団生活とはちよつと違うのかなと思いましたね。私たちの場合は先生のじかの声じゃなく、後ろ姿を見て育つ。それで、碁が打てる環境を与えていただき、子どもたち同士がそれぞれ競う。私たちは一応、その地方では神童とか何とかうまいこと言われて、(笑)送りこまれる。送りこまれてきたら、最低のところになっちゃう。そこで耐えなさいいけないんです。要するに子どもたちはそれぞれ「心の中の競争」とでもいうのでしょうか。表面はうさぎと亀みたいなもので、先に行ってもいいや、でも後で追いつくぞというような生活をさせていたでいた気がしますがね。昨年、おかげさまで木谷門下は木谷先生のもとに孫弟子も加え、門下の段で五百段を突破することができたわけですが、やっぱりすごい先生に育てられたというのを改めて感じましたね。

小幡 大竹さんの今のお話を聞いていて共感したんですけど、私も高校時代、わりと順調に陸上の成績が伸びて、大学に行つたら全国トップクラスの選手が結構いたんです。それで、私なんですごくちよつぽけななだと思つて、でもやっぱり負けたくないってうので、いろいろ種目がある中でどうしても私はマラソンしかないと決めて、実業団に入つたんです。大竹 碁は要するに勝負だけじゃなくて、大げさに言えば今は千年とか万年とか、後輩に棋譜として残りますからね。後の人たちがその棋譜を見て、ああ、こんな人が今生きていてくれたら楽しいだろうなと、そう思われるような作品をやつたり残したいと、だんだん思ってくるんです。木谷先生は最初からもうそういう求道の精神だったのです。我々は昔、何百年も前の棋譜のとおり石を並べて、やっぱりああすごいなあ、今こういう先生がここにいたら、自分たちはほんのりよかつたかと思ふことがあるんですよ。市長 将来、面白い時代が来ると思えますよ。大竹先生の棋譜を全部残しておいて、それをコンピュータに全部インプットしておく。百年後にだれかが大竹先生と一局打ちたいと言ったら、大竹先生だったら多分棋譜からこういうふうに打ってくるだろうとコンピュータが考えて、それをもとにして大竹さんと対局できる。そんな時代が来ると思うな。村井弦齋じゃないけれど予言させてくれませんか。

恵まれた条件をいかに生かすか

大竹 碁は要するに勝負だけじゃなくて、大げさに言えば今は千年とか万年とか、後輩に棋譜として残りますからね。後の人たちがその棋譜を見て、ああ、こんな人が今生きていてくれたら楽しいだろうなと、そう思われるような作品をやつたり残したいと、だんだん思ってくるんです。木谷先生は最初からもうそういう求道の精神だったのです。我々は昔、何百年も前の棋譜のとおり石を並べて、やっぱりああすごいなあ、今こういう先生がここにいたら、自分たちはほんのりよかつたかと思ふことがあるんですよ。市長 将来、面白い時代が来ると思えますよ。大竹先生の棋譜を全部残しておいて、それをコンピュータに全部インプットしておく。百年後にだれかが大竹先生と一局打ちたいと言ったら、大竹先生だったら多分棋譜からこういうふうに打ってくるだろうとコンピュータが考えて、それをもとにして大竹さんと対局できる。そんな時代が来ると思うな。村井弦齋じゃないけれど予言させてくれませんか。

出席者の横顔

大竹英雄九段
囲碁棋士。北九州市出身。昭和26年、横浜町にあった「木谷道場」に入門。棋聖戦、名人戦などを制した厚みのある碁は大竹美学と言われる。

火坂雅志さん
作家。新潟市出身。平塚市在住。昨年春、明治から昭和初期にかけて平塚に住んだ作家・村井弦齋を主人公にした小説「美食探偵」を刊行した。

小幡佳代子さん
マラソンランナー。平塚市土屋出身。現在、日本歴代5位となる2時間25分14秒の記録保持者。昨年のシドニーオリンピックでは補欠に選ばれた。

吉野稜威雄市長
司会 大須賀瑞夫(広報広聴課)

自然体でない 想像力が欠如する

大竹 アマチュア界では世界六十数か国で囲碁のオリンピックを目指しています。グループ遊び感覚で男女が一緒に遊んでおり、この点では日本が一番遅れています。これからはプロも夢や感動を与える対局を増やしていきたいと思っています。

市長 国際姉妹都市提携五周年でローレンス市を訪れたとき、カンザスシティの日本総領事から囲碁に誘われました。ローレンスの人たちが五、六人いたので、総領事としては見せて教えたかったんですね。やはり日本の文化を海外へ向けて発信することは、大切ですからね。

司会 昨年、平塚市では明治、大正に活躍した作家、村井弦齋の展覧会がありました。食に対する彼の知識は、今でも通用すると思います。



小幡佳代子さん

市長 富国強兵の時代に、村井弦齋のような男がいたことは非常に面白いと思います。弦齋は『食道楽』という小説を書いて大ヒットしました。しかも、ただの美食家ではなく、食文化全体の研究を始めてしまう。こういう人間が平塚に住んでいたことがすごいと思います。

大竹 平塚時代の食事ですが、遅い子、早い子いるんですね。最後の者が片付けなければならぬのですが、いつも加藤正夫君が遅い。ご飯を食べている時は自分の時間ですよ。だから食べているときって囲碁図が出てきやすい。私は、一応風景を浮かべて食べる。そうしたら感謝もできるし、作ってくれた人たちの情景も浮かんでくるし、心底おいしいなと思える。

小幡 私の場合は体が資本なので、コンディションを作るためにも強くなるにも、食べものにはとても気を使っています。好き嫌いはありません。

市長 平塚を中心とする相州小麦は、江戸時代には日本一といわれていました。醤油メーカーのキッコーマン(千葉県野田市)が、それを大量に買い付けていたのです。須賀の港から船で銚子港に運び、銚子からは利根川を上って野田まで運んでいま

まちの歴史が 誇りや愛着を生む

大竹 ですからこの近辺は製粉工場が今でも多いのです。そんなことから、平塚の小麦で何かできないかと考えています。例えば幻の相州麦焼酎とか。

火坂 江戸時代、相模湾では須賀港が一番栄えていました。東海道平塚宿よりも須賀港の方が人口が多かった。

司会 先ほど大竹さんは食事のときに風景を思い浮かべるとおっしゃいましたが、マラソンランナーにとってレースをイメージするのは、どういうことなのでしょう。

小幡 マラソンは自分一人で行くものなので、まず自分がしっかり歩けるようにしたい。健康なときは相手方の碁盤を見なければならぬですね。走るには三、四か月の準備期間が必要で、徐々に練習しながら高めていくのです。私は今のところ自分でうまくいくと合わせていけるんですけど、どうしてそれがうまく合っているのか、実際のところまだ分かっていない。

大竹 そうですね。一局きれいな平均図で浮かんでほしい。それでも悩むんですよ。まだもの足りない。もつという知恵はないのか。碁盤が教えてくれるんです。ですから、やはり精神的なもの、肉体的なもの両方が健康じゃないと。しかも、なおかつ能力もなきゃ、要するに自然体で生きていないと、想像力が欠如してくるんですね。

火坂 一番、苦しいのは小説でも書く前ですね。その段階では集中しようと思ってもできないですから、あえて自分を遊ばせるわけです。おいしいところがあれば食べに行くとかね。どんどん

市長 この御殿の周りに造られたのが御林です。この御林が明治になって国有地となり、日露戦争後には、日本爆発物製造株式会社がその御林跡地に建てられ、後に海軍の火薬庫となった。東洋一といわれた海軍火薬庫があったから、平塚は空襲で爆撃をあれだけ受けたのです。平塚が空襲を受けたことは、家康が中原御殿を造ったことに起因するともいえるのです。そういう歴史の流れは将来にまで影響する。歴史が大切だというのはそういうことだと思うのです。

市長 今の話は実に面白いですね。昔も相手があるんですけど、しよせんは自分に勝つかどうかです。要するに私たちが心掛けなければいけないのは、碁盤と打つということです。やっぱり、精神的にも肉体的にも健康でないと、図を求めるときに極端な図を選んでしまうのです。

大竹 そうですね。一局きれいな平均図で浮かんでほしい。それでも悩むんですよ。まだもの足りない。もつという知恵はないのか。碁盤が教えてくれるんです。ですから、やはり精神的なもの、肉体的なもの両方が健康じゃないと。しかも、なおかつ能力もなきゃ、要するに自然体で生きていないと、想像力が欠如してくるんですね。

火坂 碁に関する由緒ある資料を保管することも大切ですね。それと、できれば私たちだけじゃなくて、海外の方やアマチュアとか部外者の方の声も聞いて進めていただければと思います。

市長 ええ、海外に対する囲碁文化の発信が非常に大事な分野ですから、それを平塚が担いましょうというところで、外国の方もどんどんこへ来て、木谷記念館で碁を学んでいただければいいわけです。

火坂 プロの対局、タイトル戦なんかもできればいいですね。大竹 対局する方としてみたら、なんとと言っても東京から近いですから、エネルギーのロスがないです。七番勝負のうち一回でも、平塚のような近いところできるとありがたいですね。

市長 未来を見るためにはやはり過去を振り返る、過去が未来を教えてくれると思うのです。まだまだ知られていない平塚の歴史もたくさんあると思います。一番分かりやすい例は中原御殿とすために築いたと言われているが、それは表向きで実際は江戸の政治的な問題を、ここを拠点に処理していたという。江戸と平塚を結ぶ正式ルートはもちろん東海道ですが、そのために早く行く街道を、と造ったのが中原街道です。平塚市民でもそれを知る人は意外と少ない。

大竹 僕も知らなかった。

市長 この御殿の周りに造られたのが御林です。この御林が明治になって国有地となり、日露戦争後には、日本爆発物製造株式会社がその御林跡地に建てられ、後に海軍の火薬庫となった。東洋一といわれた海軍火薬庫があったから、平塚は空襲で爆撃をあれだけ受けたのです。平塚が空襲を受けたことは、家康が中原御殿を造ったことに起因するともいえるのです。そういう歴史の流れは将来にまで影響する。歴史が大切だというのはそういうことだと思うのです。

市長 碁に家康は各地に御殿を造りましたが、市長が言われたように軍事的な意味が非常にあります。中原御殿以外にも何か家康と関係あるものがないのか調べたら、升水の話が出てきました。家康は、あるとき平塚宿で大変のどが渴いた。水が飲みたくなつて一軒の家に行つて、飲ませてもらったそうです。升で出されたその水が大変うまかつたので、お前の家はこれから升水と名乗れと言われたという。平塚には升水さんて多いですが、そういう伝説があるらしいです。

今年抱負は
司会 二十一世紀は女性の時代ともいわれています。アテネ五輪へ向けて当面の抱負は。

小幡 一月の末に行われる大阪国際女子マラソンに出場して記録を伸ばし、今年の夏に行われる世界選手権の切符を手に入れることが、今一番の目標です。司会 火坂さん、去年は村井弦齋を主人公に『美食探偵』をお出しになりましたが、第二作を期待してよろしいですか。

市長 特例市に昇格すると、環境や都市計画などでいくつもの権限が新たに増やされますが、それと引き換えに自由がなくなるかといえる、そうとばかりも言えないところがあります。ただ、特例市になったことが市民の誇りになったり、それをバネとして特例市の権限を増やしていく運動につながっていきたく

と思っています。年が明けたので近々、検討委員会を設けて、どういうことをやる場所にするのか皆さん方の意見を十分伺って、それをもとに機能面などを具体化していきたいと思っています。

大竹 碁に関する由緒ある資料を保管することも大切ですね。それと、できれば私たちだけじゃなくて、海外の方やアマチュアとか部外者の方の声も聞いて進めていただければと思います。

市長 ええ、海外に対する囲碁文化の発信が非常に大事な分野ですから、それを平塚が担いましょうというところで、外国の方もどんどんこへ来て、木谷記念館で碁を学んでいただければいいわけです。

火坂 プロの対局、タイトル戦なんかもできればいいですね。大竹 対局する方としてみたら、なんとと言っても東京から近いですから、エネルギーのロスがないです。七番勝負のうち一回でも、平塚のような近いところできるとありがたいですね。

と思っています。最後に大竹さん。幕が開いた二十一世紀の平塚へのアドバイスを聞かせてください。

大竹 これからの時代はたたくよりも、人が一生懸命頑張つてやってこれたら、思いつきり拍手をして感動をともに出来るような、そういう子どもがどんどん育つようになってほしいですね。何であれ若い人が夢を持って生きられるような、とにかくみんなが一生懸命頑張つていこうと言えるような時代になってほしい。みんなが地道に汗をかき健全なまちになっていただきたいと、心から願っています。司会 皆様、本日はどうもありがとうございました。



火坂雅志さん

二十一世紀の

大予言

「二十一世紀には、こうなつてほしい」——子どもたちのさまざまな夢や期待を、作文や絵に描いた「未来科学の作文」と「未来科学の夢絵画」募集の入選作が決まりました。応募総数は三百二十三点（うち絵画百五十八点、作文百六十五点）。子どもらしく自由な発想で描かれたユニークな作品がたくさん集まりました。作文の小学校低学年の部では、亡くなったひいおばあちゃんと会話が出来る電話について書いた川上海良さん（八幡小一年）の作品が最優秀賞に選ばれました。入選作は一月五日から二十一日まで博物館で展示されます。

このコンクールは、昨年七月に博物館が開いた夏期特別展「時代の先駆者よみがえる村井弦齋—明治の実用小説家」にちなんで、市内の小中学生を対象に行われました。

明治から昭和の初めにかけて平塚に住んだ作家・村井弦齋は、すぐれた未来予測者でもありました。百年前の一九〇一年（明治三十四年）一月、報知新聞（読売新聞の前身）に「二十世紀の予言」という記事が載りました。この記事には交通、通信、電気、鉄道など二十三日目について、将来はこうなるという未来社会の姿が具体的に描かれています。

この記事に書かれたことは、その後ほとんどが現実化しました。例えば「鉄道の速力」という予測では、「葉巻煙草型の機関車」が登場し、列車内には「冬期室内を暖むるのみならず、暑中にはこれに冷気を催すの装置あるべく」とエアコン付きで、「東京・神戸間は二時間半を要し」となどと、東海道新幹線のみならず、つくりの電車として描かれています。

記事には署名がなく、筆

者は長い間分かりませんでした。最近の研究で、報知新聞編集幹部だった村井弦齋にほぼ間違いのないことが分かっていました。

現在平塚市内で使われている小学六年生用の国語の教科書「新しい国語」には、この記事が取り上げられています。筆者のSF作家、横田順彌氏は「書いた人の名前が分かりませんが」と書いています。しかし、彼がその後雑誌

に発表した文章では、「僕は村井弦齋説をとっている」と、ほぼ断定しています。また、NHKは昨年正月のテレビ番組「ニッポンときめき歴史館」で、「SF作家・村井弦齋の未来予測」を特集しました。

コンクールは、このようにな村井弦齋の姿を子どもたちにもっと知ってもらい、新世紀の主人公である彼らに未来予測してもらおうことを目的に行われました。

●小学校低学年の部 最優秀賞

みらいのどんわ

ぼくのかんがえたのは、みらいのどんわです。それはむかしのひとやみらいのひとと、だれでもはなせるでんわです。しんじやった、ひいおばあちゃんにでんわします。げんきですか。ぼくはげんきです。あいたいです。とこします。



八幡小1年 川上海良さん

100年後の平塚・世界

※原文を生かすため、最小限の修正にとどめました

●小学校高学年の部 最優秀賞

ロボット

ぼくは想像する未来の町は科学が発達して、色々な物が生み出され、私達の暮らしが今よりもいっそう機械化されている、そんな町だと思えます。

百年後の未来の町には、優秀な発明家何人居て、自分の実力を競ったり、時には協力したりして、次々に時代に残る大発明をし、みんなの暮らしを豊かにしていきます。

その中でも、私達の暮らしを大きく変えたのがロボットです。ロボットは掃除や洗濯などの事を頼めば、代わりにやってくれます。もちろん何も言われなくても自分で考えて動くロボットもいます。火事を見つけたとすぐに消防署に知らせるロボット、悪い事をしてる人を警察に代わってつかまえるロボットなどです。

このようにロボットは、この世の中を楽しく、そして平和にしていけるための物です。そのため、ロボットを悪用されないように悪いことを命令されると停止する仕組みもあります。



みずほ小6年 矢部令児さん

けれど、ユーモアな所もあって一日一回、暴走したり、動かなくなったりもします。それは、単なる故障ではありません。ちゃんとそうなるようにできているのです。なぜかと言つと、すべてロボットに任せて自分は何もせず運動不足になってしまう人が増えてしまつてからです。けど、これでは老人や小さい子供には大変なので、子供、大人、老人の三つで相手を区別することもでき、その人によって色々な形で接することもできます。他にも、便利な機能はあります。ロボットの頭の部分には、一部だけ空っぽの箱があつてそこは、身の回りのことを記憶して、何日か経つと、自分で考えて行動することができ、命令しなくてもいつもやっている事を自分からやってくれます。

●中学校の部 最優秀賞

百年後の夏休みの一日

家庭内の中心にはコンピューターがあつて、暮らしの全てのコントロールがされる。朝はコンピューターが予定を管理して鳥のさえずり音や優しいかけ声でさわやかに目覚め、ペットロボットが洗面道具と着替えを持って熟睡する。こちらからもペンギン

今日は午前中に、ペンギンの生体について調べるため、どこでもテレビを南極に切り替え、こちらからリモコンでペンギンを映し出し、動きや声、ペンギン同士の会話をコンピューターで解析して記録する。こちらからもペンギン

東海大学・神奈川大学 応援しよう！箱根駅伝

1月2日(火)・3日(水)

正月の恒例となった「箱根駅伝」に地元の東海大学と神奈川大学が出場します。

第3中継所となる平塚中継所を先頭のランナーが通過するのは、往路(1月2日)が午前11時ごろ、復路(1月3日)が午前10時ごろと予想されています。

新春の湘南を力いっぱい走る選手に、沿道から熱い声援をお送りください。



1月13日(土) 総合公園

2001年「消防出初式」

平塚に初春の訪れを告げる「消防出初式」を総合公園(平塚のはらっぱ)で開催します。平塚古式消防保存会のみなさんによる「はしご乗り」の華麗な演技などをどうぞ、お楽しみください。

▷時間 午前9時30分～11時
▷内容 消防車両部隊の入場行進、まといの振り込みとはしご乗り演技、一斉放水演技、女性防災クラブ「平塚パワーズ」の軽可搬ポンプ演技など

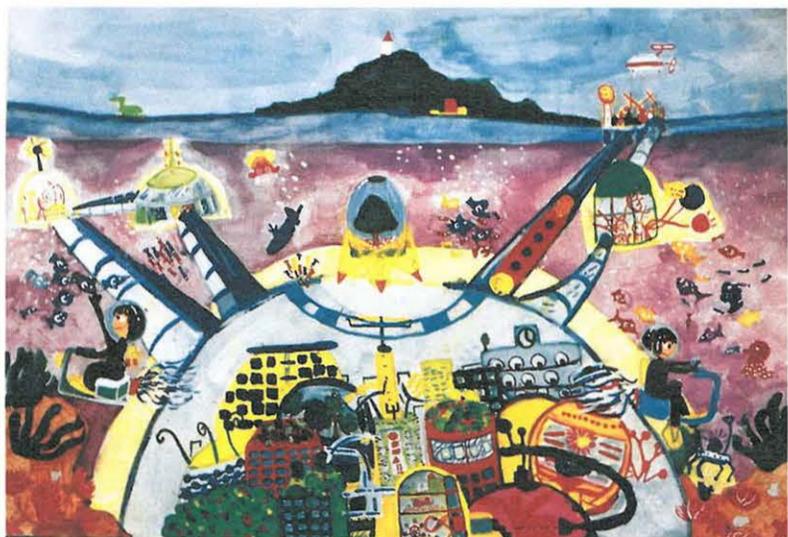
※雨天の場合は、大原小学校体育館で式典のみ開催します

問 消防総務課(☎21-9725)



未来科学の 夢絵画・作文

おもしろ便利



●小学校高学年の部 最優秀賞

100年後、私達の生活は、海底にあると
考え、この“海底都市”をかきました。
1番大きく見えるドームは、平塚市。
その上の木、花は、くすの木と、なでし
この花。公害もなく、渋滞もない所で、
冬はあたたかく、夏はすずしい。地上は
みどりが、いっぱい。これが100年後、私
達の未来です。

富士見小六年
椎野菜穂美さん



●小学校低学年の部 最優秀賞

いろいろなわくせいが、
エレベーターでつながっていて、
そのエレベーターでいろいろなわくせい
に行けるようになっています。

山下小三年
中西亮太さん



- 未来科学の夢絵画** (敬称略)
- 小学校低学年の部
- ☆最優秀賞 中西亮太 (山下小三年)
 - ☆優秀賞 佐藤駿介 (山下小一年)
 - 片山陽介 (崇善小三年)
 - 岡本祥兵 (富士見小一年)
 - 田中昭宏 (富士見小三年)
 - 井上陣 (松原小一年)
 - 石崎佑磨 (豊田小二年)
- 小学校高学年の部
- ☆最優秀賞 椎野菜穂美 (富士見小六年)
 - ☆優秀賞 松崎大輔 (神田小五年)
 - 福吉春希 (中原小六年)
 - 宮内あかね (崇善小五年)
 - 山之口加奈 (南原小四年)
 - 鈴木智子 (金目小四年)
 - 関野咲 (富士見小四年)
 - 猪股由梨佳 (真土小五年)
- 未来科学の作文**
- 小学校低学年の部
- ☆最優秀賞 川上海良 (八幡小一年)
 - ☆優秀賞 植田愛 (大原小三年)
 - 秋山実里 (城島小三年)
 - 秋山拓輝 (城島小三年)
- 小学校高学年の部
- ☆最優秀賞 矢部令児 (みずほ小六年)
 - ☆優秀賞 森さちな (崇善小四年)
 - 松本めぐみ (なでしこ小五年)
 - 水原広太郎 (花水小六年)
- 中学校の部
- ☆最優秀賞 上田千織 (大洋中三年)
 - ☆優秀賞 伊東明子 (大洋中一年)
 - 市川正人 (大洋中一年)
 - 木村耕平 (大洋中三年)
 - 笠原靖央 (中原中二年)
 - 長島彰 (中原中二年)
 - 大内悟志 (金旭中三年)

として市内の小中学生を対象
に二十一世紀の予言「未来
科学の作文・夢絵画」を募集
しました。
その結果、未来科学の作文
「百年後の平塚・世界」には、
小学校十二校から五十三点、
中学校六校から百十二点、未
来科学の夢絵画「おもしろ便
利」には、小学校十八校から
百五十八点の応募がありました。
博物館において厳正に審査
し、作文では小学校低学年の
部、高学年の部で、それぞれ
最優秀賞一点、優秀賞三点、
中学校の部で最優秀賞一点、
優秀賞六点。夢絵画では小学
校低学年の部で最優秀賞一点、
優秀賞六点、高学年の部で最
優秀賞一点、優秀賞七点の計
三十点が入選作品として決定
しました。



大洋中3年
上田千織さん

態を調べて、今日の予定を教
えてくれる。
朝食は味も香りも良い栄養
バランスの整った固形食品の
食事が用意されていて皆で朝
食。父は食事をしながら電子
新聞を読み、立体テレビのニ
ユース番組に耳を傾け、母は
家庭の一切の仕事をロボット
に命じて、子どもとの会話を
楽しむ。兄はアメリカの友達
と同時通訳が可能な携帯テレ
ビ電話でなにやら長話をして
来週からの月旅行の計画を練
っている。

画面の前でパーチャルテニス
を楽しむ。夕方からは家族揃
って夕方に北海道へ生の食材
を使った食事に行き、ゆっ
くり食事を楽しみ四時間ほど
戻ってきた。寝る前に家庭
教師ロボットを相手に勉強を
終えて、ペットロボットと共
に熟睡カプセルで就寝。夏休
みの一日が終わる。
科学技術の進歩で通信、交
通、機械、色々な事が限りな
く進化をしていく事は、もし
かしたら地球という星を破壊
へ向かわせている事かもしれ
ない。百年の進歩の途中で、
それに気づく人々が生物とし
ての人間の持つ豊かさを大切
にする為に、進化させる分野
止める分野、それぞれの選択
をする事になるのかもしれない。

発想の豊かさと、おもしろさ

村井弦齋が、一九〇一年
(明治三十四年)の一月二日と
三日、報知新聞で行った二
十世紀の予言は、科
学技術や医学といった
専門的なものから、社
会生活全般にわたる予
測を、具体的な数値で
示しています。
そして、明治人の持
つイマジネーションの
豊かさで表現して、人
類が「二十世紀」に解決
すべき問題までも明確
にしています。
こうした弦齋の予測
に示される考え方を応
募作品の選考では第一
に考慮しました。そし
て、二十一世紀に実現
するであろう、さまざま
な事柄について、具
体的に夢が語られている作品
を入選作とする基準を設けま
した。その結果が、入選作三

十点でした。
ちなみに三百点を超える作
品は、どれも子どもならで
は発想の豊かさ、お
もしろさにあふれた作
品に満ちていたといえ
ます。また、それぞ
れの作品は、単なる願望
や空想としての未来予
測に終わるのではなく、
現在の科学技術に裏付
けられ、近未来に対す
る夢的確に描かれて
いるという点で、子ど
もの持つ情報量の多さ
にも驚ろかされました。
二十一世紀は明治時
代に比べると、はるか
に不確定要素の多い百
年になると思います。
しかし、予測を通して
語られた夢には、将来
とも問題解決にかける子ども
の創造力と意欲をみることに
できました。

ひらつか夢千年記念 オペラコンサート

1月28日(日)午後2時開演/市民センター

日本で初めてオペラを演じた平塚市出身の戸倉ヤマさんの功績をたたえ、平塚市初の市民参加によるオペラコンサート(ガラ形式)を開きます。
市民合唱団と日本を代表するオペラ歌手による華やかな歌の饗宴をどうぞ、お楽しみください。



- ◇曲目 オルフォイス、タンホイザー、カルメン、ラ・ボエームほか
- ◇ソリスト 郡 愛子、齊田正子ほか
- ◇合唱 平塚市民ガラ・オペラ合唱団ほか
- ◇入場料 大人2,000円、高校生以下1,000円(全席自由)



チケット ■市民センター(☎32-2237)
好評 ■ヤンレイ・レコード(☎23-2685)
発売中 ■ヨネザワ楽器(☎23-7097)

日本で初めてオペラを演じた人

戸倉ヤマ展

1903年(明治36年)7月23日、東京上野の音楽学校奏楽堂で、日本人による初めてのオペラが演じられました。演目はグルックの「オルフォイス」で、その主役を演じたのが戸倉ヤマ(寺田縄出身)でした。
その後、故皇太后の音楽の先生などを務めた彼女の功績を写真やパネルで紹介いたします。ぜひ、ご覧ください。
▷日時 1月18日(木)~31日(水)、午前9時~午後4時30分、月曜日は休み
▷会場 市民センター



戸倉ヤマ
1882~1966